



「これからの時代」

副校長 藤本 謙一郎

先週の学校公開では多くの保護者の方に参観いただきましたことを感謝申し上げます。11日(土)3校時の授業では、学級活動の授業を公開し、生徒が自分たちごととして学級をよりよくしていくための事柄を話し合い、取組を決めました。あるクラスは全員で合意形成を行ったり、あるクラスは個人の意思決定を行ったりして、集団がよりよくなるために自分はどうかあればよいのかを突き詰めました。話し合いが未熟で、失敗しているように思われる場面もあったかもしれませんが、その失敗経験も次に活かしていくことが教育活動の場で重要視されることで、生徒は「なすことによって学ぶ」を体現して自ら成長していくことでしょう。



本校は令和4年度より2年間、練馬区教育委員会教育課題研究指定校として研究を進めています。研修主題は、「自主的に行動し、自らの可能性を広げる生徒の育成～集団活動を通して～」です。主題の設定には、現状の学園中の生徒の様子だけでなく、10年後、20年後の生徒の姿をとらえた内容となっています。なぜそのようなかなり先のことをとらえているのか、お話ししたいと思います。



私たちが経験したこれまでの時代と、これからの時代は大きく違っているところがあります。その1つは、「人口減少時代」ということです。2023年は1年間に80万人程度の人口が減っており、これは山梨県とほぼ同じ人口です。1年間に1つの県の人口が減っているのです。そのため、どの業界も人手が足りません。そこで、いくつかの業種ではロボットが人の代わりをし、商品を客に運んだり、案内をしたりしています。もう1つは「ChatGPTに代表される生成AIの進化」です。知識は覚え、身に付けておく時代から、ネットや生成AIを使って調べたり、より

発展的な解答を求めたりする時代になります。これまで正しいと思われてきた情報がすぐに新しい情報へと更新されてしまうのです。

このように、10年後、20年後の社会では、より多くの方が社会に貢献し、人ならではの発想で結果を出したり、よりよい結果を求めて改善し続けたりする人材が必要となってきます。そのために学校が果たす役割は、「教科の授業で学力を身に付けること」だけでは十分ではありません。実際、教育基本法に立ち返ると、「人格の完成を目指し・・・」とあり、人に関わることを追求し、その上で学問の知識を身に付けていくことが求められています。

人に関わることを追求するという事は学校教育のどこで行うのでしょうか。最もそのことに密接なのが学習指導要領にある「特別活動」と呼ばれる領域です。内容は、「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」を含み、集団活動の中で他者との関わりをもつことを前提として、自主的実践的な態度を育成していきます。そういう風土がある学校では、生徒は自分のよさを信じ、困難なことにも立ち向かい、自分の将来の夢や希望のために自主的に行動していきたくと学園中では研究を進め、取り組んでいます。

運動会や合唱コンクールといった学校行事では生徒が主体的に行動している姿をご覧いただきました。とても自主的な行動が多く、素晴らしい行事となりました。また、生徒会本部や各種委員会といった生徒会を牽引する組織は、生徒が生活する場をよりよくするために自治的な活動を行っています。さらに学校生活の核になる学級生活をよりよくしていくためにも学級活動の充実が必要となります。これからも学校生活を魅力あるものへと変えていきますので、今後とも学校教育へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



オンライン化の推進

12月より三者面談が始まります。今回この面談の日程希望調査について、グーグルフォームを活用しています。保護者の皆様にフォームから回答していただくことで、自動的に時間ごとの希望者が表に反映されるようになっていきます。これまで欠席連絡フォームや説明会等の出席確認で使っていたグーグルフォームですが、新たな活用を進めました。

10月に学校現場を対象にして行われたICT化に関する調査（文部科学省）では、今後はさらにオンラインでの取り扱いを進めていくことが予想されます。例えば、保護者の方への配付プリントをペーパーレスにしたり、職員の打ち合わせや会議で使用する文書もペーパーレスにしたりするといったことです。

オンライン化による利便さについては、欠席連絡をグーグルフォームで行うことで「電話が繋がらない」「連絡する時間がとれない」という保護者の方の不便さを解消できています。全国的にはペーパーレスで文書を配布するシステムの導入も進んでいるようですので、いずれは本区でも使われるかもしれません。時代の波ということもありますが、オンライン化についてはご家庭の環境を整えていただくなど、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ふれあい月間

11月はふれあい月間です。練馬区では、区立小中学校の児童・生徒全員を対象としていじめや不登校などの悩みの把握を行うふれあい月間調査を年に3回行っています。その他にも調査を行うだけではなく、「いじめ一層プロジェクト」という取組で各学校が独自の活動を行い、いじめを未然に防いだり、解決するための活動を行ったりしています。また、今年は「いじめ防止ポスター」を作成し、校内の啓発活動に活かしてください、と区から勧められています。そこで本校では生活委員会が全校生徒に呼びかけ、集まった作品すべてを校内に展示し、各学年の優秀な作品を区に提出する活動をスタートさせました。作品の応募締切は24日(金)となっています。ぜひ保護者の皆様からもお子様にこの取組についてお話しいただき、積極的に応募するよう、お声かけください。よろしくお願いいたします。

個人の取組や各部活動の大会結果の報告

柔道	練馬区民体育大会 男子の部 優勝 2年
	第11回東京都中学校新人体重別柔道選手権大会 男子の部 5位 2年
陸上競技部	東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会
	女子3年 100mYH 第1位 15秒06
	女子2年 100m 第7位 16秒07

◇今後の主な予定◇

11月28日(火)～29日(水) 職場(福祉)体験(2年生)	11月28日(火) 校外学習(1年生)
11月29日(水) 東京都がん教育講演会	12月1日(金)～7日(木) 三者面談
12月9日(土) 土曜授業 学校公開	12月9日(土) 土曜授業 学校公開

【令和7年度修学旅行のお知らせ】

令和7年度修学旅行(現1年生が3年次に実施)の取扱い業者は東武トップツアーズに決まりました。行き先は、北海道方面です。業者選定会にご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。